

部下育成の重要性

人的資源

「ヒト」という人的資源は、他の経営資源を動かすことができるのと同時に、唯一育成可能な資源でもある。

4つの経営資源

一般的に「経営資源」とは、以下の4つ。

■ ヒト



優秀な社員・従業員。または、その「ヒト」自身の優れたスキルや能力がもたらす経済的な価値。

■ モノ



製品、サービス、それらを生み出す設備、機械など

■ カネ



資金（人材の採用・育成のため、設備や機械を調達するため）

■ 情報



企業がもっている顧客データや、歴史の中で積み上げてきた企業特有のノウハウ

他の資源を動かす唯一の経営資源

これら4つの経営資源のうち、モノ・カネ・情報は単体で価値を生むことができず、「ヒト」がいることで初めてそれぞれの価値が増大される。

そのため「ヒト」は経営資源全体を動かす最も重要な資源といえる。

唯一育成ができる経営資源

「ヒト」以外の経営資源は、数を増やすことはできるが、各々が成長していくものではない。

一方で「ヒト」という資源は、入社1年目のときから経験を積んでいく中で、同じヒトでも取り組む業務や影響力の幅を広げることができる。



つまり、**個体自体が成長することができる**経営資源である。

変動型の経営資源

ヒトは感情の生き物であるため、その時によって動きが変わってくるものである。

ポジティブな空気を作り、利益をもたらすこともあれば、



ネガティブな空気を撒き散らし、悪影響を及ぼすこともある。



そのため上司は、部下一人ひとりを上手にコントロールしていく必要がある。

次回の学習テーマ：チームの士気を高める